

【中学生男子の部】

優勝 松陵中学校 A
準優勝 三方中学校



【小学生女子の部】

優勝 敦賀市剣道スポーツ少年団
準優勝 福井養正館



【高校生男子の部】

優勝 美方高校
準優勝 敦賀気比高校 B



【中学生女子の部】

優勝 三方中学校
準優勝 気比中学校



【一般男子の部】

優勝 敦賀地区剣道連盟
準優勝 三方地区剣道連盟



【高校生女子の部】

優勝 敦賀高校 A
準優勝 敦賀高校 B



【壮年の部】

優勝 敦賀地区剣道連盟 C
準優勝 敦賀地区剣道連盟 A



【一般女子の部】

優勝 敦賀地区剣道連盟 A
準優勝 敦賀地区剣道連盟 B



**令和5年度
第31回福井県近県中学生
合同剣道錬成会**

令和5年11月4(土)～5日(日)
於 若狭町三方体育館
三方中学校体育館

「福井しあわせ元気国体記念事業
第31回福井県近県中学生剣道錬成会」
が11月4日(土)～5日(日)、若
狭町の若狭町三方体育館と三方中学
校体育館で行われました。

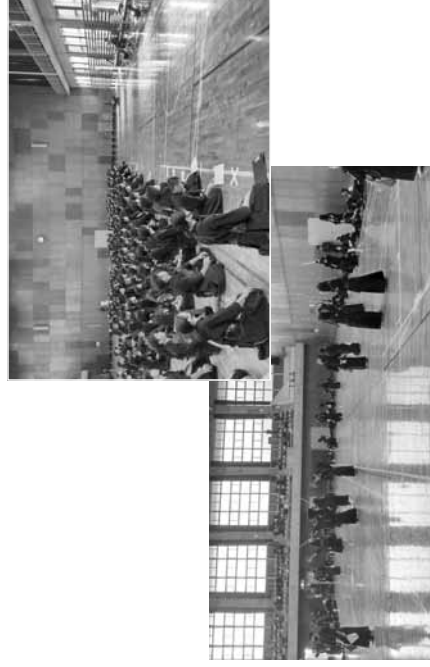
両日ともに県外校を招待し開催
しました。4日は男女とも21チーム、
5日は男子18チーム、女子17チーム
が参加しました。3校でのリーグ戦
を5次リーグまで行い、その後は申

【熟年の部】

優勝 敦賀地区剣道連盟
準優勝 三方地区剣道連盟



し合わせの試合を行いました。活気
がある試合が多く、大変有意義な錬
成会となりました。



**令和5年度福井県高等学校
剣道新人大会兼都道府県
高校男子一次選考会**

令和5年11月17日(金)～18日(土)
於 福井県立武道館

「令和5年度福井県高等学校剣道
新人大会兼都道府県高校男子一次選
考会」が11月17日(金)～18日(土)、
福井県立武道館で開催されました。

結果は次の通りです。

【男子個人】

- 1位 山下 慶也 (丸岡高)
- 2位 山口 範登 (丸岡高)
- 3位 山川陽太郎 (敦賀高)
- 3位 下 隼人 (藤島高)



【女子個人】

- 1位 西山 美咲 (北陸高)
- 2位 森川 沙恵 (敦賀高)
- 3位 前田 梨帆 (丸岡高)
- 3位 岸本 歩愛 (敦賀高)



【男子団体】

▽1回戦

敦賀気比	3 0	福井工大福井
福井高専 (不戦勝)		藤島
丸岡	3 0	羽水
美方	3 0	金津
北陸	4 1	高志
敦賀	4 0	武生

▽準々決勝

敦賀気比	3 0	啓新
丸岡	5 0	福井高専
北陸	1 (本数勝ち) 1	美方
敦賀	5 0	鱒江

▽準決勝

丸岡	1 (代表勝ち) 1	敦賀気比
敦賀	3 0	北陸

▽決勝

丸岡	1 (代表勝ち) 1	敦賀
----	--------------	----

- 優勝 丸岡高校
- 2位 敦賀高校
- 3位 敦賀気比高校
- 3位 北陸高校

- 優勝 敦賀高校
- 2位 北陸高校
- 3位 啓新高校
- 3位 敦賀気比高校

▽決勝

敦賀 1(代表勝ち) — 1 北陸

▽準決勝

敦賀 3 — 0 啓新
北陸 3 — 2 敦賀気比

▽準々決勝

啓新 (不戦勝) 藤島
敦賀 3 — 0 丸岡
北陸 4 — 0 金津
敦賀気比 4 — 1 美方

▽1回戦

啓新 1 — 0 武生

【女子団体】



▽小学生団体の部

- 第1位 今立剣道スポーツ少年団
- 第2位 鳥羽スポーツ少年団剣道部
- 第3位 剣誠館スポーツ少年団

【全国大会予選の部】

令和5年11月19日(日)
於 高浜町中央体育館
2024年3月28日(金)〜30日(日)、群馬県前橋市で開催される「第46回全国スポーツ少年団剣道交流大会」の本県代表を選出する福井県予選会が11月19日(日)、高浜町の高浜町中央体育館で行われました。試合結果は次の通りです。

第46回全国スポーツ少年団
剣道交流大会 福井県予選会

※男女とも上位4校は、2024年2月の北信越新人大会出場



▽中学生女子の部

- 第1位 森川 瑞紀 (今立剣道スポーツ少年団)
- 第2位 中村 葵 (今立剣道スポーツ少年団)
- 第3位 小堀 雪月 (きらやま剣道スポーツ少年団)
- 第3位 吉田ひかり (剣誠館スポーツ少年団)

▽中学生男子の部

- 第1位 山田 典悠 (今立剣道スポーツ少年団)
- 第2位 吉田光太郎 (剣誠館スポーツ少年団)
- 第3位 武藤 健太 (今立剣道スポーツ少年団)
- 第3位 野村 竜児 (南越前町剣道スポーツ少年団)



第1位の今立剣道スポーツ少年団

▽小学生低学年の部

- 第1位 今立剣道スポーツ少年団
- 第2位 気山剣道スポーツ少年団



第1位の南越前町剣道スポーツ少年団

▽小学生高学年の部

- 第1位 南越前町剣道スポーツ少年団
- 第2位 豊剣道教室スポーツ少年団
- 第3位 今立剣道スポーツ少年団
- 第3位 剣誠館スポーツ少年団



第1位の山田典悠選手(左)と森川瑞紀選手 ※ともに今立剣道スポーツ少年団

【交流の部】

**敦賀市剣道連盟創立70周年記念
第42回敦賀市長旗争奪福井県
少年剣道錬成敦賀大会**

令和5年11月23日(木・祝)

於 敦賀市総合運動公園体育館
敦賀市剣道連盟主催、福井県剣道
連盟など後援の「敦賀市剣道連盟創
立70周年記念第42回敦賀市長旗争奪
福井県少年剣道錬成敦賀大会」が11



開会式の様子



第1位の今立剣道スポーツ少年団



6連覇を達成した福井養正館A

月23日(木・祝)、敦賀市総合運動公園体育館で開催されました。県内の小学生チーム38チームが参加、県内ではこの大会だけの「勝ち抜き試合」で優勝を競いました。優勝は福井養正館Aで6連覇を達成しました。開会式の後、11月25日(土)、敦賀市看護大学で開催される「道場連中部地区剣道少年団研修会」体験・実践発表」で発表する中村将希さん(福井養正館)の発表がありました。試合結果は以下の通りです。

- 優勝 福井養正館 A
- 準優勝 木田剣道スポーツ少年団 A
- 第3位 鳥羽スポーツ少年団剣道部
- 第3位 福井今立道場 A
- 敢闘賞 福井今立道場 B
- 敢闘賞 剣誠館 A
- 敢闘賞 福井養正館 B
- 敢闘賞 新風館 愛宕坂道場



第3位の福井今立道場A



第3位の鳥羽スポーツ少年団剣道部



準優勝の木田剣道スポーツ少年団A



服部 晃大 (小浜少年剣道教室)



北川 将大 (木田剣道スポーツ少年団)



園田 愛心 (敦賀市剣道スポーツ少年団)



芦田 結葉 (剣誠館)

▽ 5人抜き

▽ 10人抜き

【特別賞】



体験発表する中村将希選手 (福井養正館)



西谷 零 (福井今立道場)



島崎 礼恩 (富越前町剣道スポーツ少年団)

新年明けましてお目出とうございます。会員の皆様におかれましては、清々しいお正月を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて新型コロナウイルス感染症によるパンデミックも足かけ4年となり、ようやくウイズコロナからポストコロナの時期にたどり着けたという現状の様に思われます。しかしながら世界的にインフルエンザをはじめとして各種の感染症が流行しており、これからも感染予防対策は継続して行かなければならない課題であると認識されております。

剣道競技におきましては、これまでの経験を踏まえて新しいル



一般財団法人 福井県剣道連盟
会長 片山 外一

ご挨拶

ルに従い感染症に対しても安全な競技であることを示して行かなければならないと考えております。

一方、社会の情勢はロシア—ウクライナ戦争に加えて中東での戦争、中国や北朝鮮問題など、昏迷を極めております。加えて人口減少問題やエネルギー問題、食料問題など、多難なことは枚挙に暇がありません。

しかしこのような時代であればこそ、我々は剣道精神に則り社会の安定、平和の希求において一層邁進すべきではないかと存じます。

さて昨今の傾向として福井国体の影響もあり、福井県の剣道選手の地力が次第に上がって来ている事が多方面から指摘されております。昨年2月には北信越高校新人大会で、丸岡高校男子が優勝、女子が3位入賞、6月に北信越高校大会で丸岡高校男子が優勝、敦賀高校女子が2位入賞。8月には北信越中学校大会で中央中学校女子が優勝、松陵中学校男子が3位入賞。その個人戦で優勝：元井選手、2位：松口選手（ともに松陵中学校）。全国中学校剣道大会では、松陵中学校が男子3位を獲得するなど、若い選手達が素晴らしい活躍を

見せてくれました。更にその勢いで、北信越国体では、成年女子、少年男子がともに優勝を果たし、10月の鹿兒島特別国体に於いては、成年男子、少年男子がともに第5位に入賞するという立派な成績を収める事ができました。そのお陰で福井県も天皇杯14位という好成績を出せましたので、12月1日、剣道連盟は福井県スポーツ協会から「団体奨励賞」を受賞致しました。

また従来は長年に亘り福井県実業団柔道、剣道大会が行われて来ましたが、諸般の事情により昨年から福井県剣道連盟が主催する「福井県実業団剣道大会」として再編され、10月29日に大会が成功裏に開催されたことをご報告致します。

今年はなかなか先の見えない年になるかも知れませんが、皆様と一致協力して剣道競技の発展に努めたいと存じますので、倍田のご支援を賜ります様、そして皆様にも佳い年で有りますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

県剣連会議・事業等

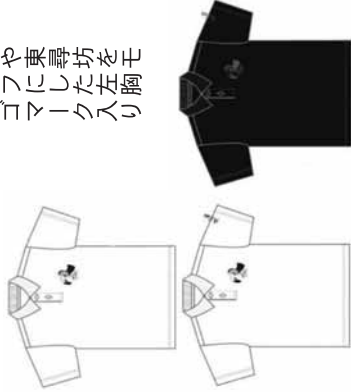
■県剣連女性部がポロシャツを 作成、販売

県剣連女性部会で本県剣道界全ての女性剣士の活躍を応援し、選手の士気高揚と広報等を目的に、県剣連女性部オリジナルポロシャツを作成し販売しました。より多くの皆さんに親しんでいただき県外選手へのアピールもできるよう、お馴染みの恐竜や東尋坊をモチーフにした福井県らしい仕上がりになりました。

このポロシャツを着て、稽古会、各大会、県外遠征など女性剣士チームのふくいの輪、活動の場が広がっていくことを願っています。

好評をいただき、今後も注文を受け付けますので、ポロシャツについてのお問い合わせはホームページ「お問い合わせ」でお願いします。

恐竜や東尋坊をモチーフにした左胸のロゴマーク入り



恐竜や東尋坊をモチーフにしたロゴ

福井県剣道連盟 創立70周年記念祝賀会

令和5年9月17日(日)

於 グラン・エアーズ・フクイ
(一財)福井県剣道連盟は9月17日(日)、福井市のグラン・エアーズ・フクイ(ホテルフジタ福井)で「福井県剣道連盟創立70周年記念祝賀会」を開催しました。県剣連役員、賛助会員のほか、各地区剣道連盟会長、理事長など39名と稲田朋美衆議院議員(本連盟名誉顧問)、仲倉典克県議会議員(本連盟相談役)、小堀友廣県議会議員(本連盟副会長)が出席、創立70周年を祝い懇談しました。

※本連盟は、昭和27年10月全日本剣道連盟が結成されたのを機に、昭和28年1月に初代理事長(故)岩越正範士九段を中心に福井県剣道連盟を創立しました。



岩崎貞夫顧問(前会長)乾杯のご発声で開宴

「福井国体のレガシーをもとに、今後は選手強化だけでなく少年と女性への普及活動の活発化し、少年・女性剣道人口の拡大並びに連盟の活動の活性化を図っていきたい」



片山会長のご挨拶



相模利朗副会長ご発声の万歳三唱で閉宴



出席者の和やかな歓談の様子



稲田朋美衆議院議員(本連盟名誉顧問)



出席者全員で記念集合写真を撮影

令和5年度第3回理事会

令和5年10月18日(水)

於 福井県立武道館

片山会長の挨拶の後、定款第47条に基づき片山会長を議長に選出し、議事に入りました。

【議題】

1、居合道段位審査規則(案)について

西川専務理事が資料により説明した後、川野理事から全剣連の審査規則に準ずるべき点について意見があり、西川専務理事が次回理事会にて改めて諮る旨を回答、異議なく承認されました。

【報告事項】

1、令和5年度前期事業報告並びに後期事業予定について

堀江常務理事が資料により報告しました。中村理事が全国中学校剣道大会、全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会の結果について報告しました。山本常務理事、松永理事が鹿児島国体の結果について報告しました。

2、令和5年度前期(9月末現在)収支計算書並びに後期収支見込について

川嶋事務局員が資料により報告しました。

3、全剣連幼少女女子北信越ブロック別研修会について

西川専務理事が資料により報告しました。以上

第146回社会体育指導員(初級)養成講習会(福井県)

令和5年10月20日(金)～22日(日)

於 福井県立武道館

標記の講習会が10月20日(金)～22日(日)、福井県立武道館で開催されました。本県での開催は、平成26年以来3回目の開催となります。新型コロナウイルス感染症が第5類に変更されたこと、また中学校部活動の民間への移行が進みつつあり、公認の指導者が求められている等のことから、全国各地より前回は上回

る68名の受講がありました。本県からは男子8名、女子3名の合計10名の原剣連会員が受講しました。

3日間にわたる講習会は、谷勝彦範士(社会体育委員会委員長)をはじめ範士八段4名、教士八段4名の錚々たる先生方のご指導の下で実施されました。

この講習会では、日本剣道形、指導法、審判法の実技実習を柱に、剣道史、トレーニング理論、AEDを使用した救急法の講習等、指導者として必要な資質を養える内容を懇切丁寧にご指導いただきました。自身自身の剣道を見つめ直すきっかけとして、また自身の剣道のレベルアップ、剣道指導者としての資格(資質)を得る等の目的で受講された方々は、中身の濃い講習を真摯に学ばれていました。2日目には理論の試験が、3日目には実技試験が実施されたこともあり、講習の合間や講習が終わった後にも、受講者同士で研修に励む姿が見られ、講習生は3日間で見違えるような成長を遂げていました。講習会終了後には、4年後の更新講習会や社会体育指導員中級養成講習会での再会を約束している姿も見られました。

自身の剣道を見つめ直す機会として、また、今後の中学校・高等学校での部活動が民間への移行が進む可

能性も考慮し、本連盟会員の皆様に(公財)全日本剣道連盟の唯一の公認指導者資格を是非とも取得していただくことを期待しています。

記：専務理事 西川 譲

令和5年度第2回昇段審査研修会(四段以上)

令和5年11月5日(日)

於 福井県立武道館

福井県剣道連盟審査部は「令和5年度第2回昇段審査研修会(四段以上)」を11月5日(日)、福井県立武道館小道場で開催しました。

講師は相模利朗先生、堀江範雄先生、川野学先生、岩本卓也先生の4名が務め、各地区剣連から七段5名、六段4名、五段4名、四段3名の合計16名が参加しました。

相模先生の開会挨拶、川野先生の進行説明のあと昇段審査研修が始まりました。各受審段位で1組ごと(3～4名)に模擬立ち合いをを行い、その後でその組の立ち合いを講師が講評するという方法で進めました。

参加者は気迫のこもった素晴らしい立ち合いで講師からの評価も高く、充実した実り多き研修会でした。

この後で開催された各審査会では次の報告がありました。

①11月11日(土) 全剣連七段審査会(名古屋市)

本研修会に参加された越前地区の万所央さんが七段に昇段されました。

②11月21日(火)～22日(水) 全剣連八段審査会(東京都)

本研修会に参加された西川譲さん、山本英俊さんが一次審査を通過されました。

③11月23日(木・祝) 県剣連段位審査会(福井市)

本研修会に参加された山本陽子さんが五段実技審査に合格されました。

今回の第3回昇段審査研修会は2024年3月24日(日)午前中、福井県立武道館で四段以上の参加者で開催予定です。

昇段審査研修会は、自分の立ち合いを客観的に評価してもらえ、絶好の機会でもありますので、今後昇段を目指されている方は奮ってご参加ください。

各地区剣道連盟事務局長会議

令和5年11月12日(日)

於 福井県立武道館

本年5月の定時評議員会において意見のあつた「地区剣道連盟の負担軽減」について、各地区連盟事務局長会議を開催し、意見交換を行いました。

【議題】

1、形講習会、段位審査会の申込みについて

県剣道連盟ホームページの申込フォームを使用して形講習会、段位審査会の申込みを行う案、および受講料、審査料等を口座振込みにより支払う案について、意見交換を行いました。

2、地区分担金の積算方法について
地区分担金の積算方法を一人当たりの会費を設定し会員数を乗じて積算する案について、意見交換を行いました。

3、剣道だよりの発行方法について
剣道だよりの発行方法を、従来どおり紙印刷物を郵送する案、およびホームページに掲載する剣道だよりのデータを活用し、印刷を簡略化または郵送を廃止する案について、意見交換を行いました。

以上について、今回の会議における意見を踏まえ、引き続き理事会等において検討することで一回了承し、会議を終了しました。

県スポ協「鹿児島国体」

入賞チーム表彰式

令和5年12月2日(金)

於 福井県国際交流会館

剣道競技も受賞

今秋の国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」で天皇杯(男女総合成績)14位、皇后杯(女子総合成績)11位となった福井県選手団の表彰式

が12月2日(土)、福井市の県国際交流会館で行われ、入賞したチームの選手や監督らの健闘が讃えられました。競技別天皇杯や皇后杯で上位となった競技団体などの表彰もあり各競技の代表者62人が出席。剣道競技も成年男子と少年男子が5位入賞で表彰され、片山会長が代表で授与されました。県スポーツ協会会長の杉本知事は「福井国体終了後5年たつて、小さな県が10位台を獲得できたのは快挙」と選手や監督らを労われました。



特別寄稿

(一財)福井県剣道連盟のあゆみ

記：専務理事 西川 譲

1、福井県剣道連盟創立

昭和27年10月全日本剣道連盟が結成されたのを機に、福井県剣道連盟は昭和28年1月初代理事長(故)岩越正範士九段を中心に創立した。これに合わせて県内8支部が誕生し加盟した。9月には第1回福井県剣道大会を開催する。翌29年には第6回県民体育大会に初参加、その後学校剣道の復活により小中高生等青少年の剣道熱も高まり会員も漸次増加した。

2、第23回国民体育大会競技別総合優勝

昭和33年第13回国民体育大会が富山県で開催されると国体招致の機運が高まり、決定するや強化の態勢を整え、本国体目指して強化策に取り組んだ。その結果、昭和40年第13回全日本剣道選手権大会で勝木豊成選手が第5位入賞、昭和42年第6回全日本女子剣道選手権大会で石本妙子選手が準優勝、第22回国民体育大会では福井商業高等学校が準優勝し、昭和43年第10回全国教職員大会個人戦高大教の部で黒川和行選手が第3位入賞するなど福井国体に向けての強化策の成果が現れた。

迎えた本国体では、競技別総合優勝(教員の部優勝、高校の部第5位入賞、成年3回戦敗退)に輝いた。

3、国体後の剣道熱の高まり

福井国体での快挙により少年剣道熱は高まり、昭和44年全国高校総体個人戦で前田穂積選手(北陸高校)が準優勝、翌45年全国高校総体女子団体で北陸高校が第3位入賞するなどの成績を残した。

昭和51年には第23回全国高等学校総合体育大会(インターハイ)を武生市(現越前市)立体育館で開催した。福井県勢では男子団体の部で鯖江高校男子が第5位入賞と気を吐いた。また、昭和61年第28回全国教職員剣道大会女子個人戦で白越証子選手が第3位入賞した。

4、新県立武道館落成と剣道活性化の拠点

昭和50年代に入り県内少年剣道人口は増加の一途をたどった。その結果、高等学校の試合には最低6試合場がないと開催できない状況となっていた。会場探しの苦労は大変なものであった。昭和41年福井市宝永に完成した福井県立武道館は、剣道場1面、柔道場1面、相撲場1土俵で手狭なことから老朽化もあり、試合場が6面とれる新県立武道館の建設を目指し、新武道館建設に向けて運動をおこなった。この要望を受けて、

県は日本一の新県立武道館建設を決定し、平成元年に念願の試合場が6面とれる新武道館が落成した。

落成を記念して、平成元年7月に各都道府県代表50名の剣士が参加して「福井県立武道館落成記念全日本剣道大会」を開催した。本県代表選手の惣次勇選手が優勝、西川護選手が第3位入賞の栄に輝き、本大会に大きな花を添えた。

県立武道館の完成に伴い、全国大会の開催の機会も増え、県内剣道の拠点として剣道熱が再度高まり全国大会等での活躍も多くなった。

①県立武道館での全国大会開催と成績

- ・平成4年 第22回全国中学校剣道大会：福井市大東中学校男女が団体第3位入賞
- ・平成11年 第12回全国健康福祉祭：本県Aチーム優勝、Bチーム準優勝
- ・平成23年 第53回全国教職員剣道大会：団体初優勝、女子個人山田聖子選手第3位
- ・平成30年 第73回国民体育大会：競技別天皇杯、皇后杯を獲得

②県内選手の活躍

- ・平成6年 第36回全国教職員剣道大会：団体第5位、個人小学校の部道内博道選手準優勝。第24回全国中学校剣道大会：男子団体大

東中学校第5位、女子団体今庄中学校第5位入賞

- ・平成8年 第35回全日本女子剣道選手権大会 高嶋寿美選手第5位入賞
- ・平成9年 第10回世界剣道選手権大会 高嶋寿美選手女子国際選抜試合(2段以下の部)優勝
- ・平成10年 第37回全日本女子剣道選手権大会 高嶋寿美選手第5位入賞
- ・平成10年 第51回国民体育大会 成年男子第5位入賞

5、普及広報活動

①福井県「剣道だより」の創刊

昭和57年当時の山田則雄理事長の発案で、機関誌「剣道だより」を創刊し、年2回発行した。谷口正儀氏は長年にわたって編集責任者として発行に携わった。平成19年に広報活動の活性化を図るために、広報委員会を創設して「剣道だより」を年4回の発行とした。また、土谷靖彦会長の発案で県剣道連盟ホームページを開設した。さらに、令和4年にはホームページのリニューアルを行い内容の一新を図った。

②世界一剣道教室の開催

県剣道連盟では、世界剣道選手権大会優勝者を招聘して「世界一剣道教室」を開催し剣道普及と二巡目福井国体への強化図った。

・講師招聘者

- 平成19年度 栄花 直輝氏
(北海道警察)
- 平成20年度 村山 千夏氏
(埼玉県警察)
- 平成21年度 寺本 将司氏
(大阪府警察)
- 平成22年度 小林 知洋氏
(東大剣道部監督)
- 平成23年度 高鍋 進氏
(神奈川県警察)
- 平成25年度 高鍋 進氏
(神奈川県警察)
- 平成26年度 佐藤 成明氏
(筑波大学名誉教授)
- 川上 有光氏
(国士舘大学教授)

③少年への普及活動

平成8年度に少年剣道の普及・振興に取り組む組織体制を構築し、少年剣道の活性化を図るために、少年剣道委員会を創設した。少年剣道人口の増加や強化に大きな力となっている。

④女性員会の創設

これまで男性主導で運営してきた剣道連盟の運営等に女性を登用し、女性の声を連盟の発展に生かすため、平成20年度に女性委員会を創設し、連盟運営や女性会員の稽古会等の充実が図られた。

6、一般財団法人設立

平成18年山田則雄会長の提案により二巡目福井国体の成功を期して、「長期構想策定委員会（市橋和廣委員長）」設置して、長期構想を策定した。平成18年会長に就任した土谷靖彦会長は、県剣道連盟の法人化に強い意欲を示し、「法人化検討委員会（柳澤峰生委員長）」を設置した。平成23年度に土谷会長の後を受けて就任した岩崎貞夫会長は、県剣道連盟の法人化に一層積極的に取り組み、その指導の下で平成24年に一般財団法人福井県剣道連盟として新たなスタートを切ることが出来た。

財団法人設立に併せて組織の改編も実施し、執行部の下に総務企画部、強化選考部（部内に成年委員会、高校委員会、中学委員会、少年委員会、事業部、審査部、広報部、女性部、居合道部を設置し、組織の活性化と事業運営の円滑化を図った。

7、第73回国民体育大会に開催に向けて

二巡目福井国体の平成30年度開催決定を受け、土谷靖彦元会長、岩崎貞夫前会長、片山外一会長の歴代3名の会長のご指導、ご支援のもとで、河越純二専務理事の総指揮により、運営準備、選手強化を行った。

①運営について

運営については、平成23年度に全

国教職員剣道大会を開催した実績のある県学校剣道連盟を主体として準備を進めた。岡田要氏が実行委員会事務局長となり、県剣道連盟が一体となって運営全般にわたり心血を注ぎ、見事な大会運営を果たした。

②強化について

強化については、県スーパーアドバイザー佐藤成明氏（筑波大学名誉教授）、高橋俊昭氏（全剣連強化部長）、神崎浩氏（大阪体育大学教授）のご指導の下で、相模利朗氏（県剣道連盟副会長）を中心に強化指導陣、強化候補選手が一丸となって強化に努めた。

少年の強化は、強化した少年選手層が国体開催後に長く県剣道界のあらゆる場面で主体となって活躍して貰うために、県内選手の育成を主眼として強化を進めた。平成30年に高校3年生となる子どもをターゲットとして小学校入学と同時に少年委員会を中心となって選手の発掘と強化を開始した。毎月1回の強化稽古会の開催、県ジュニア育成強化大会や強化錬成会の創設を通してまず小学生のレベルアップを図った。そして、中学校から高等学校へと一貫した強化を実施し強化を図った。本大会では岩谷治彦監督率いる少年女子が初優勝、高倉浩一監督率いる少年男子が第3位入賞という輝かしい結果を

残した。成年の強化は、強化選考部成年委員会を中心に進められた。

平成21年の新潟国体で成年女子が第5位に初入賞し、広島国体以来の入賞を果たし強化に弾みをつけた。平成24年の岐阜国体では成年女子が第4位入賞を果たし、強化の成果が現れ出したが、その後、強化の結果がなかなか現れず苦しい時期が続いた。平成28年に林田匡平選手（筑波大学卒）、平成30年に大西ななみ選手（筑波大学卒）が教員としてチームに加わりチーム力の向上を図ることが出来た。結果、平成28年に林田匡平選手は第58回全国教職員剣道大会個人高大教の部で準優勝した。平成29年には、林田匡平選手は、第65回全日本選手権大会で第3位入賞、第59回全国教職員剣道大会個人高大教の部で優勝。第30回全国健康福祉祭秋田大会剣道大会では本県チームが第3位入賞、第16回宮本武蔵顕彰「お通杯」で本県Aチームが第3位入賞を遂げ、国体への機運を盛り上げた。しかし、平成29年愛媛国体で男女ともに惨敗した。このことの反省から、後期には強化稽古を週3回に増やすとともに、全国の強豪県への遠征を実施し、国体優勝を目指して稽古に励んだ。

平成30年8月第60回全国教職員剣道大会個人高大教の部で林田匡平選

手が2連覇、大西ななみ選手が同大会女子個人の部で第3位入賞を果たし、9月には第57回全日本女子剣道選手権大会で大西ななみ選手が第3位入賞し、国体を迎えた。

剣道連盟が一丸となって取り組んだ強化が実り、本国体では成年女子が初優勝、成年男子が第3位初入賞をし、少年男女の成績と併せて競技別天皇杯と皇后杯を獲得した。

8、福井国体のレガシー

国体終了後、本県の剣道の競技力は確実に上がっている。令和元年度には、大西ななみ選手が第61回全国教職員剣道大会女子個人で優勝、第58回全日本女子剣道選手権大会で第5位入賞、令和3年3月に第68回全日本選手権大会で林田匡平選手が2回目の第3位入賞、第59回全日本女子選手権大会で大西ななみ選手が第5位入賞、敦賀高等学校女子が第30回全国高等学校選抜剣道大会女子団体第5位入賞、第69回全日本選手権大会で林田匡平選手が準優勝、第55回全国道場少年剣道大会小学生の部で福井養正館Aが準優勝するなど活躍が続いている。

また、国体後も成年男女、少年男女の強化指定選手を指名し強化に取り組んでいる。その際国体でご指導いただいた佐藤成明先生、高橋俊昭先生、神崎浩先生に、引き続きアド

バイザーをお願いし、全国大会入賞に向けて強化指定選手の県外遠征や強化稽古を熱心に指導して頂いている。成年男女は、週1回の強化稽古を積み重ね、国体入賞に向けて実力の向上を図るとともに、士気を高めている。少年男女も高校委員会委員の指導の下で、強化に励んでいる。

令和5年度には、第21回全日本選抜剣道八段優勝大会で堀江範雄選手が過去にこの大会で優勝した選手に勝利し、第5位入賞を果たした。また、第53回全国中学校剣道大会男子団体では、松陵中学校が第3位入賞を果たした。更に第44回北信越国体では、成年女子と少年男子が1位となり、成年男子と併せて3種別で鹿兒島特別国体への出場を果たした。

9、少年・女性人口拡大に向けて普及部の創設

福井国体優勝で、県民の剣道に対する理解と関心が高まった。この機会を捉えて片山外一会長は「福井国体で選手強化と強化方策は出来上がった。今後、強化だけでなく少年と女性への普及活動を活発化して、少年剣道人口と女性剣道人口の拡大ならびに連盟の活動の活性化を図って行きたい」と提言を出された。これを受けて令和2年度に普及部を創設した。普及部では、体験教室を始め様々な普及・広報活動の取り組みを開始

した。

10、歴代会長

昭和28年〜昭和31年	高波武右衛門
昭和32年〜昭和34年	三谷 進
昭和35年〜昭和40年	今沢 東
昭和41年〜昭和45年	山本仙太郎
昭和45年〜昭和50年	藤田 幸雄
昭和50年〜昭和56年	藤井 精治
昭和56年〜昭和58年	江守 幹男
昭和59年〜平成11年	藤澤 正清
平成12年〜平成13年	小堀 源治郎
平成14年	三上 利明
平成15年〜平成17年	山田 則雄
平成18年〜平成22年	土谷 靖彦
平成23年〜平成27年	岩崎 貞夫
平成28年〜現在	片山 外一

※この特別寄稿文は、令和5年9月17日開催の「(一財)福井県剣道連盟創立70周年記念祝賀会」で、出席者に配付された資料を採録させていただきます。

県剣連公式ホームページについて広報部より「お願い」

当連盟は公式ホームページをリニューアルし、昨年度より公開しております。福井県剣道界のポータルサイトとして「福井県内の剣道のことなら何でもわかる」を目指し、県剣道連盟会員への各種情報の提供はもとより、県内剣道人口の拡大を目指して、

普及部と連携して少年・女性剣士の普及・拡大のための情報提供、さらにはこれから剣道を始めよう、復活しよう、転勤で福井に来たから剣道したい、などの方に役に立つ情報の提供を目的としています。

つきましては広報部より次の3点について、各地区剣道連盟・各団体のご協力をお願いします。

①公式ホームページのURL、QRコードの記載

ホームページへのアクセス促進のため、各地区剣道連盟・各団体が行う各大会、事業等の「実施要項」、「プログラム」等に、この公式ホームページの「URL」、スマホからのアクセス用「QRコード」の記載をお願いします。

【ホームページのURL】

<https://fukui-kendo.com/>

【スマホアクセス用QRコード】



②各地区剣道連盟・各団体の「話題・大会・行事」などのトピックス提供

ホームページの「特集」ページに各地区剣道連盟・各団体の「話題・大会・行事」などトピックスを取り上げていますので、トピックス情報がありましたら、原稿と画像をご提供いただきたくお願いします。

③各地区剣道連盟・各団体の「道場一覧」の修正情報

各地区剣道連盟と傘下の各団体・教室・道場の情報に変更・修正・追加、画像変更があれば、次の送付先に連絡ください。

※原稿・画像データ送付先

県剣連事務局
県剣連広報部 上嶋

1月～3月の主な事業予定

【1月】

- ・ 7日(日) 県立武道館
剣道・居合道初稽古
- ・ 13日(土)～14日(日) 姫路市
第28回女子審判講習会
- ・ 20日(土) 敦賀市
県中学校剣道冬季強化大会
- ・ 21日(日) 県立武道館
福井県剣道大会(高校)兼冬季
高校選手権大会兼全国高校選抜
大会予選会

【2月】

- ・ 3日(土)～4日(日) 富山県
北信越高校剣道新人大会
- ・ 3日(土) 福岡市
全剣連 剣道七段審査会
- ・ 4日(日) 福岡市
全剣連 剣道六段審査会
- ・ 11日(日・祝) 県立武道館
県剣連第4回剣道段位審査会
- ・ 12日(月・祝) 県立武道館
第18回福井県ジュニア育成強化
剣道大会
- ・ 17日(土)～18日(日) 姫路市
第15回女子剣道指導法講習会
- ・ 17日(土) 長野県
全剣連 剣道七段審査会
- ・ 18日(日) 長野県
全剣連 剣道六段審査会
- ・ 18日(日) 越前市武道館

- 居合道合同稽古会
- ・ 18日(日) 県立武道館
全日本都道府県対抗女子剣道優勝
大会県選考会合同稽古会

【3月】

- ・ 3日(日) 京都市
全剣連 居合道六・七段審査会
- ・ 7日(木) 県立武道館
県剣連第4回理事会
- ・ 17日(日) 県立武道館
県剣連 評議員会
- ・ 24日(日) 県立武道館
剣道昇段審査研修会(四段以上)
- ・ 26日(火)～28日(木) 春日井市
第33回全国高校剣道選抜大会
- ・ 29日(金)～31日(日) 前橋市
第46回全国スポーツ少年団剣道
交流大会

各地区剣連トピックス

【敦賀地区剣連】

9月9日(土)、福井養正館が老人ホームの草刈り奉仕
福井養正館が9月9日(土)、敦賀市内の特別養護老人ホーム「溪山荘」で草刈りの社会奉仕活動を行いました。子どもたちに社会貢献の大切さを学んでもらおうと、2011年から実施している恒例行事のひとつです。例年は施設内も清掃し、施



設人居者に剣道の演武披露やふれあい活動を行ってきましたが、新型コロナウイルスの感染予防のため今年も草刈りのみとなりました。

館員の園児や小学生、中学生、指導者、保護者らが参加し、施設周りで草刈り作業。フェンスに絡むツルや繁茂する雑草などを取り除きました。半日の活動でしたが館員は『奉仕の心』を養うことが出来た様子です。

【敦賀地区剣連】

敦賀市剣道スポ少が9月9日(土)、「S」を磨こう!」参加

敦賀市本町2丁目の本町第3公園に展示されている蒸気機関車(S)「C58」の清掃活動が9月9日(土)行われ、敦賀市剣道スポーツ少年団の団員、指導者、保護者も市民と一緒に参加、黒い車体をピカピカに磨き上げました。鉄道と港を生かしたまちづくりを目指し、市や敦賀商工会議所、市民団体などで行う「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委」が主催した行事に、今年も敦賀剣スポ少が参加しました。

高圧洗浄機やデッキブラシで車体の汚れを落とし、公園内の草むしりも行いました。主将の向井結衣さん(西小6年)は地元放送局やケーブルテレビの取材も受け、普段の稽古の様子などハキハキと受け答えしていました。



展示されている「C58」は「シゴハチ」の愛称で親しまれ、同公園に

展示されている車両は昭和15年製造で、昭和46年までJR小浜線で運行していた車両です。



【敦賀地区剣連】

10月1日(日)に「創立70周年記念敦賀市民剣道大会」を開催

敦賀市剣道連盟は10月1日(日)、敦賀市中郷体育館で「敦賀市剣道連盟創立70周年記念第104回敦賀市民剣道大会(敦賀市民スポーツ祭オープン競技)」を開催しました。小学生、中学生、高校生、一般合わせて約150人が参加。小学生初心者の演武にはじまり、級別別個人戦や団体、学校別の団体戦と、小学生、中学生、高校生、一般でチームを組む地区対抗戦も行われ、市民大会ならではの和やかな大会となりました。

開会に先立ち今夏の全中大会で3

位に入賞した松陵中学校の生徒全員に表彰状が贈られ、また本年度の(一財)福井県剣道連盟功労賞を受賞された堤腰一昭さんへ伝達授賞、今月の鹿児島国体に出場する小辻淳二さん、松井宏文さん、大西ななみさんと、ねんりんピック愛媛大会に出場する奥井俊雄会長、上嶋啓芳副会長に激励金贈呈も行われました。

また創立70周年を記念して作成した「面手拭い(揮毫文字は智仁勇)」を参加者全員に贈呈しま



した。試合結果は次の通りです。(優勝のみ記載)

【個人戦】

- ▼小学生7・8・9級の部
優勝 大野 奨悟(栗野剣道教室)
- ▼同3〜6級の部
優勝 園田 愛心
(敦賀市剣道スポーツ少年団)
- ▼同1・2級の部
優勝 元井 汰希(福井養正館)
- ▼中学生男子1級以上の部
優勝 元井 颯汰(松陵中学校)

- ▼同2級以下の部
優勝 尾川一之進(栗野中学校)
- ▼中学生女子の部
優勝 川端 沙歩(栗野中学校)
- ▼高校男子の部
優勝 小不動湧大(敦賀気比高校)
- ▼高校女子の部
優勝 窪田 咲月(敦賀高校)

【団体戦】

- ▼小学生
優勝 福井養正館
- ▼中学生男子
優勝 松陵中学校
- ▼中学生女子
優勝 松陵中学校
- ▼地区対抗
優勝 栗野地区



地区対抗戦 優勝の栗野地区



※敦賀市剣道連盟は昭和28年に「剣道の奨励・発展と会員の健全なる心身の滋養・親睦と融和を図ること」を目的に創設され、本年度創立70周年を迎えました。これも多くの先達をはじめ連盟委員、保護者の方々のご支援・指導によるものと心からお礼申し上げます。

当連盟の活動は毎年活発に行っており、少年や中学校・高等学校、一般に至るまで、おかげさまで県内でも有数の強豪地区となっております。最近では松陵中学校剣道部男子が、8月に行われました全国中学校剣道大会において見事3位に入賞すると

いう快挙を成し遂げました。また全国大会への県代表選手に多数選出されるなどの実績もあげております。

そのような中、当連盟は創立70周年の記念事業として下記のことを進めております。

- 1、敦賀市武道館剣道場壁面への小・中・高校生の名札掲示（昨年度前倒し実施）
- 2、敦賀市武道館に大型送風機3台を設置（昨年度前倒し実施）
- 3、10月1日開催の「敦賀市民剣道大会」を「創立70周年記念」大会とする
- 4、11月23日開催の「敦賀市長旗争奪少年剣道錬成大会」を「創立70周年記念」大会とする
- 5、70周年記念品として面手手拭いを作成。染めてある揮毫文字の「智仁勇」は神谷保男名誉会長が選定され、気比中学校教諭の黒川淳先生が揮毫
- 6、創立60年から70年の10年間の記録誌を作成
- 7、当連盟オリジナルポロシャツを作成し販売
- 8、著名剣道選手を招聘し、「剣道世界一教室」を開催予定

【揮毫文字の「智仁勇」とは】

何が正しいかを識る意の「智」、相手を理解する、相手の立場になつてものが考えられる慈愛の心を「仁」、

そして勇気をふるつて打ち込む「勇」、この智・仁・勇が渾然一体となつたものが剣の道である（※孔子の『論語』より）、という剣道の修行を意味しています。

【福井県剣道寿康会】

10月14日（土）に「令和5年度淡海剣友会・寿康会交流稽古会」を開催

福井県剣道寿康会は10月14日（土）、福井県立武道館小道場で、「令和5年度淡海剣友会・福井県剣道寿康会親睦剣道交流稽古会」を開催しました。淡海剣友会（滋賀県）からは約20名、福井県寿康会からは会員約30名が参加。10月末に愛媛県松山市で開催される「ねんりんピック愛媛大会」に出場する滋賀県チームと本県チームの試合稽古の後、約1時間ほどお互いの稽古に汗を流しました。

【福井県剣道道場連盟】

10月24日（火）、「剣道体験・実践発表会 県予選会」開催

福井県剣道道場連盟は、剣道を通じて学んだことを作文で発表する「第46回中部地区剣道少年団研修会 福井県予選会 体験・実践発表会」を10月24日（火）、鯖江市の「鯖江市図書館 文化の館」で開催しました。福井県剣道道場連盟加盟の各道場から小学生の部5人、中学生の部

2人が発表、同連盟の相模利朗会長ら7人が審査しました。

小・中学生各最優秀賞1名は、福井県道場連盟主管で11月25日（土）に敦賀市立看護大学で行われる「第46回中部地区剣道少年団研修会」で発表します。

結果は次の通りです。

【小学生の部】

- 最優秀賞 中村 将希
（福井養正館 栗野南小学校6年）
- 優秀賞 向井 結衣
（敦賀市剣道スポーツ少年団 西小学校6年）
- 優良賞 出口 咲希
（敦賀剣道錬成館 松原小学校5年）

【中学生の部】

- 最優秀賞 尾川一之進
（福井養正館 栗野中学校1年）
- 優秀賞 濱野 晃大
（豊神館 鯖江中学校2年）



最優秀賞の尾川一之進さん（左）と中村将希さん（右）

【福井県剣道道場連盟】

11月25日（土）、「第46回中部地区剣道少年団研修会体験・実践発表会」開催

福井県剣道道場連盟は11月25日（土）、敦賀市立看護大学で「第46回中部地区剣道少年団研修会体験・実践発表会」を行いました。中部8県（愛知県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県、石川県、富山県、福井県）の予選会で最優秀賞となつた小学生8名、中学生8名が出場し発表しました。本県代表は10月24日（火）の福井予選会で最優秀賞となつた中村将希さん（福井養正館、栗野南小6年）と尾川一之進さん（福井養正館、栗野中学校1年）が発表しました。結果、中村将希さんは最優秀賞を受賞し、2024年3月10日（日）、東京武道館にて行われる日本剣道少年団研修会へ出場が決まりました。尾川一之進さんは敢闘賞を受賞、2

人ともに素晴らしい発表をしました。



【小学生団体高学年】

- 優勝 昇龍館一福道場(岡山県)
 準優勝 京都山科少年剣友会(京都府)
 3位 子宝会(石川県)
 3位 小桜道場(京都府)

【小学生団体低学年】

- 優勝 志道館学園A(岐阜県)
 準優勝 志道館学園B(岐阜県)
 3位 昇龍館一福道場(岡山県)
 3位 東生駒剣道クラブ(奈良県)

試合結果は次の通りです。

【若狭地区剣連】

11月26日(日)、「第8回田村周山杯剣道交流大会」を開催

小浜市剣道連盟は、連盟設立に尽力し、40年以上の長きにわたり小中学生を主体に剣道を指導され、青少年育成、剣道普及・発展に努められた田村周山先生を顕彰する「第8回田村周山杯剣道交流大会」(主催：小浜市剣道連盟、後援：福井県剣道連盟など)を11月26日(日)、小浜市民体育館で開催しました。県内外から97チーム47名が参加しました。



最優秀賞の
中村将希さん

【中学生女子団体】

- 優勝 志道館学園A(岐阜県)
 準優勝 悟道館後藤道場(岐阜県)
 3位 京都砂川少年剣道錬成会(京都府)
 3位 江南武道館(愛知県)

【中学生男子団体】

- 優勝 福井養正館A(福井県)
 準優勝 志道館学園(岐阜県)
 3位 心会A(岐阜県)
 3位 京都太秦少年剣道部(京都府)



中学生男子団体優勝の
福井養正館A(福井県)

みんなの広場

剣道部・
クラブ紹介

松陵中学校剣道部

松陵中学校剣道部

顧問 中村 英紀

本校剣道部は、「自信 勇気 笑顔」をモットーに、「日本一」を合言葉に、日々稽古に励んでいます。最終目標は、剣道を通じての人間形成ですが、試合においては全国中学校剣道大会で団体優勝を目指しています。そのためには、「当たり前」のことを当たり前にするのが今、一番大切なことだと考えて取り組んでいます。

今年度、福井県剣道連盟の先生方をはじめとする皆様のご指導・ご協力のおかげで、第53回全国中学校剣道大会愛媛大会において、男子団体戦で第3位に入賞することができました。また、第44回北信越中学校剣道大会石川大会において、男子個人戦優勝・準優勝という福井県勢初の結果を収めることもできました。これも、先生方や保護者・男女部員23名全員で目標に向かって努力した結果「全員の力」だと考えています。

40数年前の剣道部発足当時は、活

動場所がなく、敦賀高校の稽古に参加させて頂いたり、朝稽古を実施したりと歴代の顧問の先生が日々工夫した活動をしてきました。現在は、本校には道場がない関係で、体育館を使用して稽古しています。しかし、毎日体育館を使用することができず、稽古場所がない日は、ステージの上で稽古に励んでいます。時間にも制約があり、朝練習は禁止、練習時間も毎日放課後1時間から1時間半までです。そんな中で充実した稽古にするために、一人一人が考え、工夫して「今の課題」を克服する稽古を実施しています。内容は、基本稽古を重視しています。毎日が素振り・切り返し・打ち込み・かかり稽古中心の稽古です。その中で、多くのパターン練習をつくり、「気のつなぎ」と「技のつなぎ」を実践しています。中学生という心も身体も大きく成長する大切な時期に、「鍛える」ということは重要であります。子どもたちが持っている可能性を引き出すために、「いつ・どこを・どう鍛えるか」がポイントになってくると思います。また休日は、毎週県外に出向

き、全国各地の強豪校の胸をお借りして、交剣知愛に努めています。今年の全国大会は、九州遠征や関東遠征でやり切ったことが自信につながり、結果となりました。

近年、中学校における部活動の取り組み状況も大きく変化しつつあります。休日の部活動地域移行の問題やクラブチーム大会参加等、新たな取り組みも出てきていますが、私自身、中学校教員として子どもたちの夢実現のために何ができるかを考え、学校・地域・保護者が一体となれる部活動組織を構築しながら、微力ではありますが、今後も指導に精進していきたいと思えます。

今日まで剣道部を支えていただいた歴代の顧問の先生方や剣道連盟の先生方、各道場の先生方に「感謝」の気持ちを忘れず、松陵中学校剣道部全員で「感動」を追い求めていきます。今後とも、ご指導ご鞭撻をよろしく願いたします。



剣道 称号段位合格者

全剣連 剣道六段以上合格者

剣道七段

- ・ 8月5日(土) 於 新潟県上越市
 - 瀬尾 祐輝 (福井地区)
 - 佐藤 憲造 (坂井地区)
 - 河合 岩暢 (三方地区)

- ・ 11月11日(土) 於 名古屋市
 - 新田 雅和 (坂井地区)
 - 万所 央 (越前地区)

剣道六段

- ・ 8月6日(日) 於 新潟県上越市
 - 高橋 泰平 (丹生地区)
 - 和中 律英 (福井地区)
 - 北村 禎彦 (敦賀地区)
 - 西嶋 紀 (福井地区)
- ・ 11月12日(日) 於 名古屋市
 - 深川 晃 (越前地区)
 - 和田 克枝 (越前地区)
 - 高橋 克平 (鯖江地区)
 - 宮腰 茂雄 (坂井地区)

全剣連 剣道称号

(範士・教士・錬士) 合格者査会

- ・ 11月15日(水) 東京都八王子市
 - 教士 江指 恵 (丹生地区)
 - 教士 岡田 恵子 (坂井地区)
 - 錬士 三井 清喜 (福井地区)
 - 錬士 白崎 文崇 (福井地区)

- 錬士 相模 宏二郎 (福井地区)
- 錬士 上谷 幸男 (坂井地区)
- 錬士 大味 香代子 (坂井地区)
- 錬士 田辺 寿之 (越前地区)
- 錬士 坂本 哲也 (大飯地区)

県剣連 令和5年度

第2回剣道段位審査会

令和5年8月11日(金・祝)
於 敦賀市総合運動公園体育館

【初段】 55名

- 奥 平 貫示 (丸岡南中1年)
- 竹内 陽祐 (芦原中1年)
- 森 翼 (勝山中部1年)
- 庄田 駿弥 (芦原中1年)
- 松井 利矩 (三国中2年)
- 川畑 悠 (森田中2年)
- 荒木 創太 (明倫中2年)
- 松山 煌希 (森田中2年)
- 宮下 蒼穹 (中央中2年)
- 吉田 陽登 (森田中2年)
- 向 蒼空 (南越前中2年)
- 宮本 一颯 (森田中2年)
- 武藤 健太 (南越中3年)
- 増田 樹人 (松陵中3年)
- 渡辺 騎士 (坂井中3年)
- 山本 泰輔 (坂井中3年)
- 千葉 康生 (武生第二中3年)
- 手賀 将晴 (鯖江中3年)
- 山田 寛大 (鯖江高3年)
- 齋藤 大和 (鯖江高3年)
- 森岡 優輝 (警察官)

山崎皓太(警察官)
PANG YIFAN(福井大2年)
山口航輝(警察官)
西川巧馬(警察官)
西野秀志(警察官)
村中孝輝(警察官)
林拓慧(警察官)
坪田悠雅(警察官)
桑原有(警察官)
明間彩夏(丸岡中1年)
笠川蒼(武生第二中1年)
野尻あさひ(灯明寺中1年)
呉林真衣(三方中2年)
堀川蓮(武生第二中2年)
山本莉久(明倫中2年)
笹本真依子(鯖江中2年)
前田栗那(明倫中2年)
下田琴子(丸岡中2年)
清水琴葉(気比中2年)
池本倅菜(森田中2年)
田中志歩(明倫中2年)
宗沢佳奈(森田中2年)
堂埜星里奈(武生第二中3年)
福田夏羽(明倫中3年)
朝倉凜(鯖江中3年)
高橋唯乃(南越前中3年)
森川希海(東陽中3年)
神戸奏来(鯖江中3年)
松尾歩愛(鯖江中3年)
吉田百花(福井高1年)
大内葵(敦賀気比高2年)
野村春歌(警察官)

南口菜々(警察官)
齊藤綺乃(警察官)
【三段】30名
元井颯汰(松陵中2年)
山田典悠(南越中2年)
中村颯太(小浜第三中2年)
崎元煌太(松陵中2年)
瀬尾朋樹(三方中3年)
荒木煌雅(松陵中3年)
縄間友翔(松陵中3年)
中川綾介(三方中3年)
出口慧(松陵中3年)
渡邊冬馬(三方中3年)
伊藤孝亮(福井高専1年)
廣嶋孝亮(武生高1年)
中村健(鯖江高1年)
田上暁(福井大1年)
中條剛太郎(教諭)
上山直利(警察官)
竹内希莉奈(朝日中2年)
芦田朋葉(三方中2年)
島田樹衣那(武生第三中2年)
武長睦(三方中3年)
小堀雪月(三方中3年)
西山倫代(中央中3年)
高嶋静香(芦原中3年)
川端花和(栗野中3年)
小川マリサ(武生第三中3年)
小堀真依(敦賀気比高1年)
村田美久(鯖江高1年)
阿部日向(敦賀気比高2年)

牧野宝良(警察官)
【参段】16名
和田憲知(藤島高1年)
丸田聖陽(敦賀気比高2年)
中村万葉(福井高2年)
小林勇輝(敦賀気比高2年)
江戸陽琉(美方高2年)
奥村颯太(敦賀気比高3年)
倉村興霸(福井大1年)
奥村悠生(福井大3年)
小島竜輔(警察官)
藤田大聖(警察官)
山本虹心(敦賀気比高2年)
鶴見美月(北陸高3年)
杉原歩佳(敦賀気比高3年)
森田ころ(北陸高3年)
赤澤琴葉(敦賀気比高3年)
坂川結咲(警察官)
【四段】7名
森恵誠(東京歯科大2年)
田畑美奈(専門学生)
内田大樹(警察官)
北島正貴(警察官)
元矢隼人(会社員)
今井大彰(会社員)
村井達弥(会社員)
【五段】1名
木瀬将盛(会社員)

県剣連 令和5年度
第3回剣道段位審査会
令和5年11月23日(木・祝)
於 福井県立武道館
【初段】57名
倉橋天羽(武生第三中1年)
川崎一志(芦原中1年)
山下智之(武生第三中1年)
八木煌誠(金津中1年)
宝泉蒼生(武生第三中1年)
水野新大(鯖江中1年)
畠中舜(三方中1年)
奥出俊太郎(芦原中1年)
熊谷薩馬(三方中1年)
東久矩(大東中1年)
脇本誠健(藤島中1年)
川中宏晃(足羽第一中2年)
岩佐明日翔(明倫中2年)
岡輝(中央中2年)
土田健太郎(鯖江中2年)
小林禅(明倫中2年)
小辻恵太(足羽第一中2年)
小沢涉(羽水高1年)
池田正幸(美方高1年)
荒井健汰(藤島高1年)
水野高大(高志高1年)
福嶋良仁(皇學国際高2年)
東汰市(警察官)
南部純基(警察官)
松ヶ谷柚花(万葉中1年)
前田彩純(丸岡中1年)

長谷川 沙津紀 (三方中1年)
 岡井 陽菜 (中央中1年)
 吉田 ひかり (三方中1年)
 山本 仁蕪利 (南越中1年)
 脇本 彩羽 (三国中1年)
 山崎 早映 (足羽第二中1年)
 津野 千空 (鱈江中2年)
 織田 渚沙 (三国中2年)
 石川 胡花 (大東中2年)
 藤枝 佳倫 (鱈江中2年)
 江端 優舞 (明倫中2年)
 玉村 翔愛 (東陽中2年)
 杉田 千紘 (大東中2年)
 金粕 郁花 (東陽中2年)
 長田 羽矢 (芦原中2年)
 伊藤 心晴 (藤島中2年)
 宇久 由乃 (東陽中2年)
 宮川 ひまわり (芦原中2年)
 打屋 歩乃果 (足羽第二中2年)
 山崎 梨杏 (鱈江中2年)
 山崎 陽詩 (東陽中2年)
 久中 乃依 (坂井中2年)
 石川 朱華 (明倫中2年)
 山口 未結 (鱈江中2年)
 下谷 さつき (武生第三中2年)
 渡邊 ひなた (春江中2年)
 市川 嘉乃 (金津高1年)
 宇野 眺 (美方高1年)
 大田 桃愛 (金津高1年)
 本田 夏子 (会社員)
 下智 子 (学校職員)

【三段】 40名

尾崎 直統 (森田中2年)
 笹野 輝倫 (成和中2年)
 竹内 優斗 (丸岡南中2年)
 山田 伊織 (南越前中2年)
 藤田 惠徳 (森田中2年)
 前川 悠真 (清水中2年)
 荒川 祥慶 (大東中2年)
 林 大悟 (森田中2年)
 藤原 辰之介 (南越前中2年)
 太田 怜 (至民中2年)
 中荒江 圭市 (中央中2年)
 杉原 孝明 (武生第二中2年)
 武長 咲孝 (三方中2年)
 山森 春人 (中央中2年)
 小角 瞳弥 (春江中3年)
 上道 竣文 (南越前中3年)
 坂井 飛仁 (春江中3年)
 河原 怜音 (南越前中3年)
 倉本 つばさ (金津高1年)
 富原 綺竜 (敦賀高1年)
 松井 彬仁 (福井高専1年)
 武曾 隼也 (金津高1年)
 藤田 惠多郎 (高志高2年)
 金子 幸永 (金津高2年)
 山川 華英 (藤島中2年)
 塚田 穂乃 (東陽中2年)
 高原 和花奈 (坂井中2年)
 田中 希 (明道中2年)
 白崎 菜々美 (進明中2年)
 村瀬 結菜 (明道中2年)
 和彗田 流雫 (北陸中2年)

【四段】 9名

德橋 知輝 (警察官)
 小本 駿也 (福井工大3年)
 富谷 嵩平 (福井工大3年)
 小浦 一朗 (福井工大3年)
 熊崎 晃誠 (福井工大3年)

【参段】 16名

下寛 人 (藤島高1年)
 寛 翔太朗 (美方高2年)
 林 歩夢 (北陸高2年)
 阪井 芯太朗 (金津高2年)
 直江 終羽 (北陸高2年)
 江戸 一誠 (美方高2年)
 田中 晴己 (福井高2年)
 熊谷 龍馬 (敦賀高3年)
 宇野 介祥 (福井医療大4年)
 松田 耕明 (教員)
 高村 耕亮 (教員)
 西坂 友希 (会社員)
 布日 大介 (団体職員)
 角海 和宏 (会社員)
 松井 優明 (会社員)
 楠川 直也 (医師)

山岸 みなせ (三国中3年)
 山崎 琴心 (芦原中3年)
 前川 和奏 (森田中3年)
 北川 陽菜 (朝日中3年)
 吉川 仁菜 (金津高1年)
 高橋 美帆 (啓新高1年)
 北野 佑佳 (高志高1年)
 毛利 明日香 (啓新高1年)
 三河 朱花 (高志高1年)



【五段】 1名

田中 更幸 (会社員)
 芦田 秀幸 (会社員)
 船田 昌平 (会社員)
 内山 田楓 (会社員)
 井手 和樹 (福井工大3年)

「剣窓(けんそう)」読んでいますか？

「剣窓」とは、全日本剣道連盟が剣道界の新鮮で重要な情報を20~30ページにコンパクトにまとめて毎月発行している情報誌です。

内容は主に、全日本剣道連盟の方向性、事業計画、組織、財務、審査会の結果、範士の寸評、そして今回のコロナのような重要指針の伝達などです。



令和の新年を迎え

全日本剣道連盟 副会長 張富士夫

「新年あけましておめでとう。今年も剣道界がますます発展することを祈ります。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。」

出題は参考資料を基にし、回答は

【剣道指掌要領】
【剣道講習会資料】

*参考資料

【指掌上の留意事項】

【木刀による剣道基本持種古法の

【指掌法講習における重点事項】

【剣道の理念「剣道修練の心構え」

【指掌法】

【1時間目(50分)】

【剣道基本-範士筆記試験要領】

全剣連5か年収支計画

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	単位:万円	
					計画	計画
予算	494,915	494,915	494,915	494,915	494,915	
専業費	44,400	44,400	44,300	44,300	44,300	
大会・講習会	27,600	27,600	27,600	27,600	27,600	
普及費	23,800	23,800	23,800	23,800	23,800	
社会費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
共済費	44,470	46,585	46,585	46,585	46,585	
その他						

剣道七・六段審査(家庭)申請

七段審査者(家庭)別名 東島豊

受審者(108名)候補別名 六段審査者(候補)別名 中村スボラ

センターにおける審査を担当させていただきます。少しお疲れをさせていただきます。

合格された方は、真理 打突 強さをはらへ一心で攻める構え。おめぐる。審る。そして傍で身技品と風情が表現されたこと。見事に風情に結びついたと思います。後者から不合格の申請は今回の審査を踏まえ、今一度審査される花生方に指導を賜えたい。期待しています。自分自身が審査で不合格の時、師事している花生方と

- 富山 坂井 義 山田 哲夫
- 高岡 清二 57 渡井 敏 小倉 勇一 69
- 石川 北立 伸 64
- 福井 山 出昭 亮 76 平浦 剛次 85
- 木内 修典 69 春巻 40 松浦 敬史 65
- 長野 野 伊藤 剛 59 松山 俊昭 49
- 小林 和夫 62 唐崎 健 57
- 岐阜 北原 明 53 倉知 一久 69
- 岡田 北原 隆 44 小針 正宏 64
- 中村 博己 48 岡田 兼 52 川尻 仁二 62
- 尾崎 雅通 69 金原 康 58 岡部 兼明 60
- 田中 豊 58 島崎 昌 58
- 津 野 少 88 島崎 昌 58

【よく読む自願のお申し込み】

「感謝状」を記入し、お申し込みください。

一般財団法人全日本剣道連盟(以下「全剣連」)では、6月10日付をもって「村人稽古自願のお申し込み」を募集するとともに「稽古再開に向けた稽古自願ガイドライン(以下「全剣連ガイドライン」)を制定しました。

皆様には下記ガイドラインに沿って事を展開して頂くようお願いいたします。また、各組織・団体にあつては、全剣連ガイドラインを参考に、それぞれの特性に応じた「組織・団体別のガイドライン」の作成および再開後の稽古計画の

剣道誌といえれば他に「剣道日本」や「剣道時代」などがありますが、どちらかといえば大会情報や技の解説などに誌面が割かれており、剣道界全体の大きな話題については触れられておりません。

「木を見て森を見ず」という言葉がありますが、森を知る情報誌が「剣窓」ともいえると思います。

剣道を修行する先生方、ましてや剣道を指導される先生方におかれましては、福井県におられなくても剣道界の方向性を見据え、視野を大きく持ち、大局観をもって剣道に取り組んで頂きたく「剣窓」をお勧めする次第であります。コロナ禍で対面稽古もままならない今の時期こそ、原点にかえり剣道を見つめ直すときかと思えます。事理一致を目指すツールとしても是非お勧めいたします。

年間購読料は3,300円(税・送料込み)です。

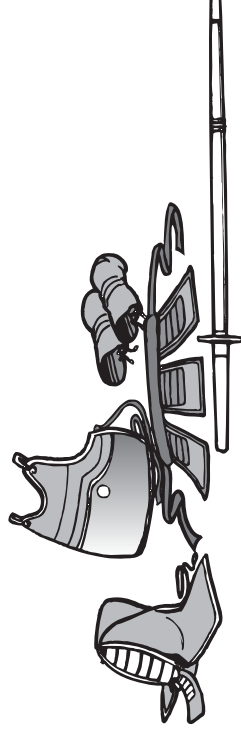
(月額275円の計算です。剣道日本は1,500円/月、剣道時代は980円/月ともに税込み)

「剣道だより第107号」と共にお送りした「郵便振替」以外にも、全剣連HPの定期購読欄から「クレジットカード決済」、「銀行振込」、「コンビニ決済」、「郵便振替」と4種類の便利な支払い方法があります。全剣連が入金確認した時点で送ることが可能な最新号から1年間の購読となります。ご対応のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

(一財) 福井県剣道連盟 事務局



私たちは「福井県の剣道」を応援しています



《福井県剣道連盟 賛助会員》

(株)マルチホールディングス 様	医療法人 保仁会泉ヶ丘病院 様
(株) 法 美 社 様	メデイアボックス(株) 様
大 栄 電 設 工 業 (株) 様	千寿会医療福祉グループ 様
医療法人 相木病院 様	ノザキモーター 様
(株) アイビックス 様	いづみ観光バス(株) 様
カ ラ ヤ (株) 様	
衆議院議員 稲田朋美 様	参議院議員 山谷えり子 様
高 森 政 義 様	岩 崎 貞 夫 様
鶴 田 裕 一 様	卯 目 ひ ろ み 様
伊 藤 祐 一 様	

(一財)福井県剣道連盟は、剣道連盟の活動にご理解とご協力をいただける個人・団体・企業様を募集しています。

■年会費	個人会員	1口 10,000円
	公益または公益に準じる事業を目的とする団体企業等	1口 10,000円 1口 30,000円

- 特 典
- ①当連盟の開催する大会の案内
 - ②当連盟のホームページへの掲載
 - ③当連盟の事業計画・収支予算・収支決算報告書の提供
 - ④当連盟の事業に対して意見を述べる
 - ⑤剣道だよりへの掲載
 - ⑥当連盟主催大会のプログラムへの掲載

■申し込み (一財)福井県剣道連盟事務局までご一報ください
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
 TEL・FAX: 0776-28-6616 e-mail:fkikendo@herd.ocn.ne.jp

パンリレー 女性剣士の部屋

敦賀市剣道連盟 青木 萌子

私は小学校1年生から高校まで滋賀県で剣道をしており、その後愛媛県の大学に進学し、愛媛にて剣道をのんびりと続けておりました。

就職を機に福井県へやってきたのは一昨年(令和4年)のことです。縁もゆかりもあまりなく、友達どころか知り合いもない社会人生活が福井県小浜市でスタートしました。仕事から帰っても特にすることもなく、○○○プライムでアニメや映画を見ることしかやることのない、なかなか寂しい日々を送っていました。そんな中、職場の方から小浜市剣道連盟さんをご紹介いただき、久しぶりに稽古をする場をいただくことができました。久しぶりの稽古だったことやお世辞にもきれいとは言えないオリジナル剣道を身に付けてしまっていた私は、素振りからご指導いただき基本を見直すことをメインに稽古をしていました。

段々と体が動くようになってきた気配がする頃、敦賀市へ引越すことになりました。稽古をどこで続けようか悩んでいたところ、小浜市の会員さんから敦賀市剣道連盟さんをご紹介いただき今に至ります。どちらの剣道連盟さんでも縁もゆかりもない私をあたたかく受け入れてくださったおかげで、福井県で非常に充実した生活を送れるようになりました。もうあの頃の寂しさはなく、剣道を続けていて本当によかったなとしみじみと感じています。稽古前に飯の腹痛を起こしていた小学生の時にやめなくて正解でした。

現在、社会人2年目で毎日バタバタした生活を送っており、つらい時も多いですが、稽古に行き、声を出して、



左から3番目が青木萌子さん

竹刀を振ると元気がでます。今は四段合格を目標に稽古中です。いつまでも三段のまま、偽りの審判員をやるわけにもいきませんので…。しかし、そうすると剣道形も頑張らないといけませんし、オリジナル剣道の癖も直さなくてはなりませんし、やることは多いですが、頑張つて挑戦してみようかなと思います。

剣道でできたご縁を大切に、これからも末永く福井県で剣道を続けていければと思います。

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616